

# 小平市議会定例会 代表質問通告書

質問件名 こどもたちの学び育つ環境を整えることについて

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください。)

こどもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。学校教育の現場では、こどもたち1人1人に向き合い、育ちや学びを支えていく必要があります。

2019年度に国が掲げたGIGAスクール構想に基づき、小平市では市立小・中学校のすべてのこどもたちに学習用端末を1人1台配備し、2021年度から教育活動での活用を開始しています。はたしてデジタル活用のみでこどもたち1人1人のニーズに応えるような学びができているか検証が必要です。

さらに、東京都教育委員会は公教育に従事する全ての教職員の長時間の勤務状況に対し、教員がこどもたちと向き合う時間や、授業の質を高められるための時間を確保できるよう2023年「健康的な職場環境を実現するための宣言」を表明し2024年には「学校における働き方改革の推進に向けた実行プログラム」を策定しました。このことは現状では教員がこどもたちと向き合う時間や授業の質を高めるための時間が不足していることを示しています。

加えて報道によると2024年の小中高校生の自殺者数は527人にのぼり、過去最多となりました。こどもたちを取り巻く生活環境は大きく変化し、複数の要因により心身に影響を及ぼすような悲しい現実があります。こどもたちが孤立せずに学びあい育つために早急に環境を整える必要があります。以下質問します。

- ① 第二次小平市教育振興基本計画の計画策定の背景と趣旨の中で、学校教育では、「超スマート社会(Society5.0)」の到来を背景に、自ら未来を切り拓いていくために知識や情報、技術を活用する力、人間関係を形成する力、自立的に行動する力など、これからの社会を生き抜くために必要な基礎となる能力の育成が求められていると示されています。小平市の学校教育の現状をどう評価し、どのような課題があると捉えていますか。
- ② 市立小・中学校のこどもたちに1人1台の学習用端末を配備し、2021年度に教育活動での活用を開始してから2024年度までに見えてきた成果と課題をお示ください。
- ③ 学校における働き方改革の推進に向けて、市でも外部人材の配置拡充など行っています。これまでの取組の評価と課題をお示ください。
- ④ こどもたちのメンタル不調をいち早く捉え、必要であれば福祉や医療機関と連携することや、メンタルヘルス、精神疾患に関する講座などを学校教育の場で開催することについてご見解をお示ください。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2025年2月12日 小平市議会議長 殿

会 派 名 生活者ネットワーク 受付番号【            】-(      /      )

代表質問議員氏名 さとう 悦子 整理番号(通しNo.)……(            )